

平成八年度 定例総会開催

——新たな発想で活発な論議展開される——



講演する濱口恵子先生

道
神
青

揮毫
中野府長
第6号
北海道
神道青年協議会
平成8年10月2日

春の心地よい穏やかな気候のか、全道各地より参集した多くの会員の出席を受け、平成八年四月四日、北海道神社庁に於いて平成八年度北海道神道青年協議会定例総会が開催されました。午後二時に開会し、神殿拝礼、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和に

続き、後藤会長の挨拶、来賓の西川副庭長・中村OB会々長・北方神青協会長にそれぞれご挨拶いただいた後に議事に入りました。

議長には上川支部の芦原前道神青会長が選出され、平成七年度会計案等が承認され、また、地方単位会の活動が道神青活動の原点との後藤会長の考え方から、平成七年度の各単位会の事業報告がなされ閉会しました。

午後三時三十分からは北海道神道政治連盟の主催、道神青の共催による時局講演会が開催されました。講師には東札幌病院看護部の濱口恵子先生を迎えて、「緩和医療と靈的な痛み（Spiritual Pain）」と題し、がん医療の現状と課題、宗教の関わりと心の問題等について、穏やかな口調で分かりやすく講演をしていただきました。総会時にこのような講演会を開催することは始めての試みではありますが、普段知ることのない分野のお話しを聞くことができ、参加者一同考えを新たにしたよい機会であつたと思いますし、またこのような機会が再度設けられる事を期待したいと思いまます。

午後六時より始まつた恒例の懇親会は、多くの会員が交流を深め、今後の活動を積極的に推し進めていくことを誓いました。

平成八年度の北海道神道青年協議会研修会が、六月二十六・二十七日の両日、札幌青年神職文月会の担当で、ホテルポールスター札幌に於いて受講生九十四名が参加して開催されました。

主題に『いまこそ日本人の氣概を』

人が進むべき「道」を

求めてーと題したこの

研修会では、一日目に

北海道における昆虫研

究の第一人者である北

海道文理科短期大学学

長坂本与市先生を講師

に迎え、「私の北海道」

ー自然界から学ぶーと

題して、人との共生、

自然との共生、文化と

しての共生を先生独

の視点で捕らえたが

現教育にはびこる矛

盾や問題点をユーモア

を交えながら講義をい

だきました。



開会の挨拶をする後藤会長

松本先生は「国際ディベート学会」を設立され、理論的思考を身につけるためのディベートの普及に努められることから、講義終了後受講生をグループに分け、ディベートを体験することになりました。受講生にとっては初めての経験であり、なかなか難しいものがありました。中には時間を忘れるくらい盛り上がっていたグループもあり、有意義な講義となりました。

今回の開催趣旨にもありました
が、終戦五十年を経て、日本人が
本来持つていた伝統的精神や倫理
的規範（それは取りも直さず神道
思想であり、神道的発想であり、
自然感である）が失いつつある現
状があり、これから約五十年を考
えたとき、神道の持つさらなる可
能性・時代に合った要求を常に考
えながら行動し、それらを再構築
することが、次代を担う我々青年
神職に課せられている大きな役割
であると再認識させられた研修会
終わりに、研修会開催のためご
尽力いただいた札幌青年神職文月
会に対し、心より感謝申し上げた
と思います。



盛り上がるディベート

研修会開催

於 ホテルポールスター札幌

二日目には日本の英語教育に精通し、デイベート・国際交渉・異文化コミュニケーションなどの分野で活躍されている名古屋外国语大学教授松本道弘先生を講師に迎え、「道を忘れた日本人」と題して独自の英語学習の理念「英語道—英語を通じて自分も研く」を通じ、日本独自のコミュニケーション方法の崩壊に警鐘を鳴らして、いたしました。また、松本先生は「国際ディベート学会」を設立され、理論的思考を身につけるためのディベートの普及に努められることから、講義終了後受講生をグループに分け、ディベートを体験することになりました。受講生にとっては初めての経験であり、なかなか難しいものがありました。中には時間を忘れるくらい盛り上がりっていたグループもあり、有意義な講義となりました。

今回の開催趣旨にもありました
が、終戦五十年を経て、日本人が
本来持つていた伝統的精神や倫理
的規範（それは取りも直さず神道
思想であり、神道的発想であり、
自然感である）が失いつつある現
状があり、これから約五十年を考
えたとき、神道の持つさらなる可
能性・時代に合った要求を常に考
えながら行動し、それらを再構築
することが、次代を担う我々青年
神職に課せられている大きな役割
であると再認識させられた研修会
終わりに、研修会開催のためご
尽力いただいた札幌青年神職文月
会に対し、心より感謝申し上げた
と思います。



北方会長の所信表明

針並び事業計画案が上程され、特に本年は皇大神宮御鎮座二千年にあたることから神宮奉祝活動の推進と、来る平成十一年の神青協創立五十周年の諸準備に取り掛かる認められ、次に、平成八年度活動方針並び事業計画案が上程され、特に本年は皇大神宮御鎮座二千年にあたることから神宮奉祝活動の推進と、来る平成十一年の神青協創立五十周年の諸準備に取り掛かる認められ、次に、平成八年度活動方

り来賓挨拶があり、阪神淡路大震災への神青協の復旧支援活動に対する慰労の言葉を戴きました。定例表彰式の後議事に入り、平成七年度活動報告・同決算について承認され、次に、平成八年度活動方針並び事業計画案が上程され、特に本年は皇大神宮御鎮座二千年にあたることから神宮奉祝活動の推進と、来る平成十一年の神青協創立五十周年の諸準備に取り掛かる認められ、次に、平成八年度活動方

に於いて代議員八十四名の出席のもとに、第四十八回定期総会が開催されました。開会式では岡本神社本庁総長より来賓挨拶があり、阪神淡路大震災への神青協の復旧支援活動に対する慰労の言葉を戴きました。定例表彰式の後議事に入り、平成七年度活動報告・同決算について承認され、次に、平成八年度活動方針並び事業計画案が上程され、特に本年は皇大神宮御鎮座二千年にあたることから神宮奉祝活動の推進と、来る平成十一年の神青協創立五十周年の諸準備に取り掛かる認められ、次に、平成八年度活動方

皇大神宮御鎮座二千年を奉祝するとともに神青協創立五十周年へ北方丸二年目の帆を上げる

神道青年全国協議会 第四十八回定期総会開催

事が示され、慎重審議を経て全議案が可決承認され、引き続き第四十八回定期総会決議が採択されました。

北方体制も二年目を迎え、いよいよ昇華の段階を迎えておりますが、健康に留意され奮闘されるごとを祈りますとともに、道神青一同熱いバックアップをしていきたくと考えております。



終了後、参加者一同ハイポーズ

本年は、皇大神宮御鎮座二千年的佳節にあたり謹んで奉祝の意を呈し、努めて神宮の奉賛に邁進することを期すとともに、来る平成十一年、神道青年全国協議会創立五十周年に向けて、創立の趣旨を鑑み、また先輩諸賢の足跡に習いつつ、いよいよ青年神職としての本分と責務のもとに、本会の目的達成に尽力することをここに誓う。

平成八年四月十八日
第四十八回定期総会決議

式典運営助勢のため道神青より二十七名参加

神社本庁設立五十周年

平成八年五月二十二日、日本武道館に於いて、常陸宮同妃両殿下御台臨のもと神社関係者約九千五百名が参加し記念式典が開催されました。

式典では指定団体功労賞として神青協OB十二名が表彰されると共に、我らが北方会長が本庁五十年にあたり、代表してその決意を表明し、斯道發展の為鋭意努めることを参加者と共に誓い合いました。

第二部では「明日の日本を築くメッセージ」としてC.Wニコル（作家）、平岩弓枝（作家）、佐伯彰一（文芸評論家）、赤井英和（俳優）の四氏が熱いメッセージを寄せ、第三部では日本の「心」と題してフォーク歌手のさだまさしさんの記念コンサートが開催されました。

今大会の運営にあたっては全国から神青協会員百五十名が受付、誘導等の助勢を行いましたが、道神青も北方会長を輩出する単位会としての意識から、全道より後藤会長を始め二十七名の参加助勢を致しました。

全道雅楽交流会

—公開演奏会も開かれる—

六月六、七日の二日間にわたり函館において全道雅楽交流会が開催された。

この交流会は、平成四年の十勝支部雅楽会の発足を機に帯広に全道の雅楽演奏者が集まつたのがきっかけで、今回が二回め。

当日は道神青協会員十五名を始め、北海道神宮雅楽部、後志雅友会、北海道神社序十勝支部雅楽会函館楽所の他に、上川や胆振、青森からも参加を得て、一般を合わせて二十八名の雅楽演奏者が亀田八幡宮社務所で研修を行うとともに懇親を深めた。

近年札幌はもとより、後志、道南、十勝と道内各地で神職を始め一般の方も参加しての雅楽の研修演奏が盛んになつており、祭典奉仕はもちろん、鎮守の森や学校での公開演奏等様々な活動を展開しているが、昨年は生涯學習フェスティバルの一環として札幌芸術の森での演奏の機会も得、ジャズとの競演も試みている。

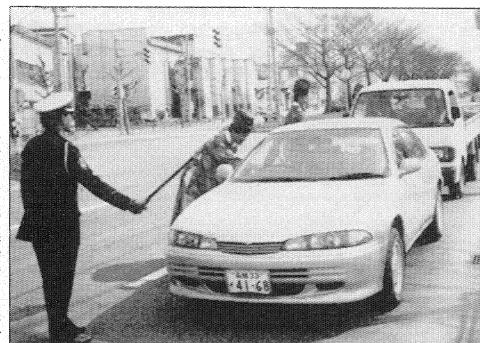


舞楽陵王を力演

春の交通安全

渡島神道青年会祈願祭奉仕する

今回の交流会でも、一日めの夕方には、北海道神道青年協議会、北海道神社序道南支部、北海道神社協会の後援で函館護国神社境内仮設舞台において、公開演奏会を行い、二百名近い市民が篝火を焚いた幻想的な雰囲気の中で、管絃越殿樂、陪臤、舞樂陵王を楽しんだ。
(函館楽所事務局)



気をつけて運転を

北海道神社序主催、北海道女子神職協議会共催による研修会がいまだ雪の残る、平成八年二月二十六・二十七日の両日、北海道神社序にて中島先生、菅原先生を迎えて開催されました。

一日目の祭式では、男子と女子

の作法の違いを中心講義と実習

を受け、二日目は討論会を開き、

菅原先生にオブザーバーとして同

席して戴き、昨年女子神職協議会

が行つたアンケートをもとに、日

頃女子神職として活動するうえで

の問題点や悩みについて、菅原先

生の体験談を交えて多くのご助言

を戴きました。

聴講を含め十三名の参加でした

が、とても和やかで楽しい勉強と

交流会となつたようです。

「白衣での研修会はどうもおつ

くうで」と思われている方にも、

次回は是非参加して戴きたいそ

うです。

女子神職協議会 NEWS

研修会開催

北海道神社序主催、北海道女子神職協議会共催による研修会がいまだ雪の残る、平成八年二月二十六・二十七日の両日、北海道神社序にて中島先生、菅原先生を迎えて開催されました。

一日目の祭式では、男子と女子

の作法の違いを中心講義と実習

を受け、二日目は討論会を開き、

菅原先生にオブザーバーとして同

席して戴き、昨年女子神職協議会

が行つたアンケートをもとに、日

頃女子神職として活動するうえで

の問題点や悩みについて、菅原先

生の体験談を交えて多くのご助言

を戴きました。

聴講を含め十三名の参加でした

が、とても和やかで楽しい勉強と

交流会となつたようです。

「白衣での研修会はどうもおつ

くうで」と思われている方にも、

次回は是非参加して戴きたいそ

うです。

白衣での研修会はどうもおつ

くうで」と思われている方にも、

300

仕してゆきたいとのことでした。

この善意の奉仕は、男性神職が思いつくべくもない、素晴らしい事です、心より敬意を表したいと思います。

上川・十勝神青交流会

大雪でありましたが、多くの出席を得て楽しいひとときを過ごし、翌日は九時三十分より当地の湯沢神社を正式参拝し、石川宮司より神社の由緒・歴史についてお話しを戴きました。その後マリンパークへ移動しイルカのショー等を見学されました。

来年はどちらで開催されるのでしょうか。女子神職の皆さんもお楽しみのことでしょう。多くの方が参加されることをお祈り致します。

女性の本領發揮



和やかな交流会

五月の道神青協議員会時に、十勝神青三沢会長より十勝神青研修旅行のなかで、上川神青との交流を行いたいとお話をあり、会長始め全会員に連絡を致しましたところ、一同大歓迎するとのことで決定しました。

神青OBの新得神社和田隆史宮司様、鹿追神社富櫻延行禰宜様はじめ会長会員九名、総勢十八名にて和やかな雰囲気のなか交流が行われました。

始めに自己紹介を致しまして、歓談と飲食での一次会を終了し、折角の旭川ですので、飲食街として有名な三六（サンロク）街へと場所を移し、大いに盛り上がり、より交流が深りました。その詳細は写真はもちろんのこと、書くことは出来ませんでしたが、ご想像におまかせします。

今後、他の単位会との交流会は大歓迎ですので、連絡をお待ちしています。

平成九年度カレンダー

今年も札幌青年神職文月会が企画発行するカレンダーができあがりました。このカレンダーは毎年

平成八年七月十八・十九日の両日、十勝支部主催の雅楽研修会が十勝神青会員、道女子神職を含めて、総勢十二名の参加者を得て、帯廣神社務所にて開催されました。



日頃より、雅楽に対し研鑽を重ねている十勝神青の皆さんです

が、雅楽はもちろんのこと、祭式や禊など様々な活動を積極的にしています。

これからは他の神青との交流をはかりながら、積極的に活動していくことです。

私の提言

です。ぜひともお申し込みをお願いします。

●一部 四〇〇円（送料実費）
数がまとまれば神社名を印刷することができます。

●申込先

文月会カレンダー担当
諏訪神社 松谷権禰宜まで
電話〇一一一七一一〇九六〇

時流

今やパソコンはあらゆる職場に進出し、一家に一台の時代がすぐそこまでやって来ている。ちょっと前ならパソコンは、たかがワープロや計算。そして名簿作りしか出来なかつたのに、高級情報機器として偉そうな顔をしていた。数百万もして、一般庶民には高嶺の花だつたはず。それが何とあのテレビのように日本中を席巻しようとしている。既に一部のマニアのものではなく、「家電」と言つ称号をつけて。

神社とパソコン

最初の頃、神社界に導入されたパソコンの多くが、氏子の管理、会計、ワープロを使用する事だけが目的で動いていた。そもそも、パソコンはその本体だけでは、電源を入れてキーボードをたたいても何もしてくれない。必ずソフトがなければ動きません。ソフトにも大きく分けて2種類あり、それが起動ソフトと応用ソフト。起動ソフトは皆さんも耳にしたことがあると思いますが、ウンドウズ95を代表とする、言わば頭脳にスイッチを入れ思考回路を明確にするためのソフトと考えるといいで

しょう。そして応用ソフトは起動ソフトを通して、パソコンユーザーがあれこれと命令し、結果を得るためにソフトと言えます。その種類はパソコンユーザーが必要とする要求の数だけ存在するはずです。もちろん、その期待に応えるための身体、つまりハードも頑丈で、能力の優れているものが相応しいのです。

しかし、いざパソコンを買ったとしても、以前のパソコンはキーボードを打って、いちいち命令を入力しなければならず、その命令を覚え切れずに、押し入れの隅に追いやられていた状況がありました。そのため、パソコンの便利さは認識しているのに、なかなか手を出しつづけていたのです。それを救つたのがワンドウズでした。いいちキーボードを打たなくともよく、マウスと呼ばれる入力装置を用いてることで、多くの命令が視覚的に簡易に入力できることができるようになつたのです。

そして、ワンドウズのお陰で飛躍的に伸びたパソコンは、能力を高め新たな展開を見せはじめました。その能力の最大のものは、画像処理でしょう。最初のワンドウズが証明している。しかし開戦され衆和の事実であるし、むしろ歐米列強の策略によつてやむなく始められた戦争であつたことは歴史が証明している。しかし開戦された本当の理由は、「情報」不足の為ではなかつたのか。

「情報」とは、相手の様子や考え方を判断するための知識

物であり、だんだんと高速化されていった。そして何よりも価格が下がつたことが、新たなユーチャーを増やしていくのです。

しかし、いまだ私たちの神社界はパソコンを限定された三つの目的にしか使用していないし、パソコンのものつ可能性を知らないでいる。

「情報」と「共生」

昨年終戦五十年を迎えたとき、私たちちは一齊にあの戦争の検証を試みた。それは歴史・思想・経済あらゆる部分にそれは及び、その多くが納得できるものであつた。

しかし、私は単純にあの戦争が行われた理由の中に、「情報」と、今回の研修会のテーマでもあつた「共生」という二つのキーワードが存在していたと思うのです。

日本國は天皇陛下の大御心もうであつたように、最後の最後まで戦争を回避しようとしていたのは衆和の事実であるし、むしろ歐米列強の策略によつてやむなく始めた戦争であつたことは歴史が証明している。しかし開戦されられた本当の理由は、「情報」不足の為ではなかつたのか。

「情報」とは、相手の様子や考え方を判断するための知識

今では海外旅行は頻繁に行くことができる。訪問者は行く場所のことを、パンフレットやガイド本

神社とインターネット

インターネットは、百以上の国々をカバーする世界最大のネットワークシステムである。企業や大学等のネットワークシステム同士を相互接続するシステムとして設計された為、インターネットといふ名前が付けられたのです。

インターネットの情報は個人情報と共有情報に大きく二つに分け

で人間や料理、名所古跡、天気や生活等を調べ、その土地の全てとコミュニケーションを図ろうと準備をして向かう。そして訪問者を迎える側も同じく、訪問者の環境や嗜好を調べ準備し、コミュニケーションを図ろうとする。それが情報の基本であり、「人間性の情報」のやり取りであろう。何げない心の行き違いはどの時代にも存在しただろうが、あの当時は余りにも知らないことが多すぎたし、考えを伝える術も少なかつた。その為に起きた戦争とも言えるのではないだろうか。

互いを知るということは、生きるうえで斯くも重要な気がする。アリとアリマキ、ダイズと根粒バクテリアのように、互いを知り助け合つて生きること、つまり神道的な発想である「共生」の思想があるの一時期、我々日本人の中で薄らいでいたために起きた戦争ながらも知れません。

られます。個人情報は名前と住所等の私的なものと思いがちだが、それではなく、例えば、自分が使うワープロのプログラムファイルや文書データ等、自分一人が使用するデータが個人情報にあたる。これに対し、共有情報は、複数の人間が閲覧し活用する類いの情報のことです。個人情報は、他のユーチャーに見せる必要がなく、また見せたくないもの。だから、自分の専用領域の中に納めておけるのだが、共有情報はみんなが自由にアクセスすることができる場所にまとめて納められていくのが便利である。また、コミュニケーションを取り際にも「そこに提示しておけば、みんなに情報が伝わる」という場所があればより円滑に意志の疎通が図れるようになるのです。みんなが知り使うことでメリットが増え、その情報はいくつものネットワークを経て、なかなか人の手を介さなければ波及しない。これはコミュニケーションの面でも同じ事が言えるでしょう。そこで、ネットワークごとに蓄積された資産を互いに活用し、コミュニケーションを取りるようにしたシステムがインターネットなのです。

最近のインターネットはコミュニケーションを図るために多くの人が多い。実際アクセスしても企業や観光協会のホームページ

ジが多いような気がする。しかし、それも情報なのです。

そして神社界においてインターネットのホームページを開設しているところはまだ少ない。神社本庁や学究の府である國學院大学にさえいまだないのです。

戦後失われつつある様々な「共生」、そして神社がシンボルとして存在した地域社会の崩壊。いわんやそれは神道のもつコミュニケーションの崩壊を意味しているのではないだろうか。パソコンを自在に操る現代の若者は神社と寺の違いさえ分からぬでいる。彼らが時代の中枢に登りつめたとき、まさに神道の崩壊が来る恐れがある。それを防ぐために、彼らとコミュニケーションを取ること

が、共生の道を復活させて行くひとつの方法ではないだろうか。

まだ回線接続のための使用料が高額のため、すべての神社とは言いませんが、神社本庁あたりが率先して、神道の発想や自然観などの「情報」を、インターネットなどを使い、そしてそれを時代の流れに乗せ、あの若い世代とコミュニケーションを取つていただきたいと思つています。

最後にインターネットをするために必要なものを簡単に列記し、神道界のホームページと、私が興味をもつたホームページを紹介して終りたいと思います。

様似住吉神社編室

酒井栄幸

インターネット接続に必要なもの

- | | |
|-----------|--|
| ①パソコン | ウインドウズ95搭載のものかマッキントッシュ |
| ②電話回線 | 普通の電話回線で十分 |
| ③モデム | 通信速度が28.8Kbps |
| ④プロパンダー | 接続業者のことです |
| ⑤接続ソフトウェア | 接続ソフトウェアはインターネットに接続するだけで、WWWブラウザやメールソフトが必要です |

面白ホームページ

- NHKグループ
<http://www.nhk-grp.co.jp/nhk-grphome.html>
- 浅間大社の祭り
<http://www2.shizuokanet.or.jp/usr/masanori/file/4/html>
- 愛宕神社
<http://www.asahi-net.or.jp/^gx8r-mtok/>
- 卷原発
<http://www.bekkoame.or.jp/^nnpp/maki.html>
- 北海道情報
<http://www.clione.co.jp/clione/>
- Kids, Space (子供の教育)
<http://plaza.interport.net/kids-space/>

◎ 皇大神宮御鎮座二千年奉祝行事
及夏期セミナー

概要

皇大神宮御鎮座二千年の佳節を奉祝し、神宮に各地の特産品を奉納し、併せて神宮の御事についての研修を行う。

・期日 平成八年十月十一日～十二日

・場所 三重県鳥羽湾ホテル池の浦

・講義 「神宮御鎮座と二千年の意義」
神宮大麻領布の課題
神宮御鎮座と二千年の意義
藤岡重孝先生
國學院大學教授 中西正幸先生
國學院大學長 上田賢治先生

○中央研修会

・期日 平成九年三月五日～六日

・場所 熊本県熊本市
(九州地区担当・主管 熊本地区)

夏期セミナーにつきましては、登録を締め切りましたが、来年度の中央研修会につきましては、後日ご案内致しますので、多くのご参加をお待ちしております。

活動予定

好評につき

「白衣・襦袢セット」巫女さん用 頒布のご案内

神青協の事業品頒布には、常日頃ご理解とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。昨年より頒布させて戴いております「白衣・襦袢セット」も、お蔭をもちまして大変ご好評を戴き、神青協運営の自助として渉外・教化等の活動に役立たせて戴いております。

今回はこの「白衣・襦袢セット」に、ご要望の多かった「巫女（女子神職）用」を新たに頒布させて戴きます。巫女さんはもちろん、年末年始の助勤者用にと幅広くご活用戴ければと存じます。

神道青年全国協議会 事業委員会

内容白衣2枚・半襦袢4枚セット

◇種類 夏物と冬物がございます。

◇サイズ フリーサイズ

着丈は白衣127cm、襦袢69cm

◇素材白衣：夏物 ポリ65%、麻35%

冬物 ポリ65%、綿35%

襦袢：夏冬とも 綿100%（衿はブロード）

価格 12,000円

神青協特別価格。通常業者で販売している価格の半額です。尚、送料は別途ご請求申し上げます。

お申込・お支払

別紙注文書にてFAXか郵送にてお願い致します。

★備考欄に単位会（都道府県）名を必ずお書き下さい。
お支払は頒布物品同封の振込用紙にてお振り込み下さい
ますようお願い致します。

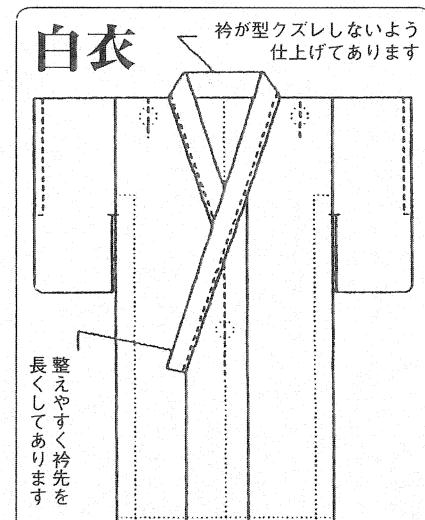
好評頒布中！ 祭典用和傘



軽量650グラム

「頒布品の葉」をご参照下さい
ご要望に応え、祈願名を21種
に増やしました。神社の
はおりにもびったりの 初宮詣
大きさです。 家内安全
心願成就、海上安全
新年祈禱 危除祈願……
など
21本をセットにしました

宮印(21本入)



○で示した部分は手縫いです。

お申し込み・お問い合わせ

神道青年全国協議会事務局 (担当/橋野)

〒151 東京都渋谷区代々木1-1-2 神社本庁内
TEL (03) 3379-8011
FAX (03) 3379-8299

のんびりと秋の気配を楽しみながら、趣味の俳句に勤しんでいたのですが、気が付くと、もう目の前に御例祭日が迫つていて、それに通信の編集も残つていた。それでも何とかギリギリセーフ。前回の編集者に脱帽し、次回の編集者にエールを贈ります。

今回の通信から各単位会の理事が交替で編集を担当することになりました。何故かというと、通信は会員全人が発信する情報誌であるべきであり、そして全員が参加して作るべきものだからです。いつも誰かがやつてくれると思う心は、神職としては恥ずかしい心ではないでしょうか。稚拙な考えだと言ふ方も居られるでしょうが、道神青のこれから的发展を考えたとき、新たなスタートとしての通信第六号でありたいと思ふ。皆さんにお届け致します。

今回の発行に当たつて、原稿や写真的依頼に対しまして、快くお引き受けくださいました各単位会諸氏に心より感謝申し上げます。この号が発行される日は、スポーツ大会当日なのですが、どこのチームが優勝したのでしょうか。皆さんの健闘を祈ります。（酒）

編集後記